

図書館だより

開館時間(共通)9時~17時30分
 中央図書館 ☎0558-76-5566
 葦山図書館 ☎055-949-8605
 HP <https://izunokuni-library.jp>



今月のおすすめ

一般

【中央】
【葦山】



隠居おてだま
西條奈加/著
KADOKAWA

還暦を機に隠居暮らしを始めた老舗糸問屋の元主人徳兵衛。新たな組紐商いで初めて商いの楽しみを知るが、家族には悶着の種が芽吹く。『隠居すどろく』待望の続編。

一般

【中央】
【葦山】



墨のゆらめき
三浦しをん/著
新潮社

都内の老舗ホテルに勤務する続力(つづきちから)は、書道教室を営む遠田薫と仕事をするうちに続は文字が放つきらめきに魅入られていく。

一般

【中央】



現地発韓国映画・ドラマのなぜ?
成川彩/著
筑摩書房

「ラーメン食べますか?」の別の意味とは? 入試コーデイナーって? 100本以上の映画やドラマを通して、ニュースでは見えない韓国の食、習慣、社会状況を知る。

一般

【葦山】



メメンとモリ
ヨシタケシンスケ/著
KADOKAWA

よごして、あらって、ちらかして、かたづけ、それでいいんじゃないかしら。「生きる意味」や「生きる目的」にモヤモヤする人に向けた、姉弟の3つの物語。

新着本コーナーから

- 一般 鈍色幻視行 恩田陸/著 【中央・葦山】
- 一般 ひむろ飛脚 山本一力/著 【葦山】
- 一般 時々、慈父になる。 島田雅彦/著 【中央】
- 一般 ニホンという病 養老孟司・名越康文/著 【葦山】
- 一般 子どもも自分もラクになるとならない「叱り方」 伊藤徳馬/著 【中央】
- 児童 そらまめくんのありがとう なかやみわ/作 【葦山】

8月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

8月のおはなし会

- ・中央図書館 12日(土)11時~
(中央は夏のおたのしみ会)
 - ・葦山図書館 26日(土)11時~
 - ・くぬぎ会館こども広場
17日(木)10時10分~
- ※事前申込は不要です。

お知らせ

図書館クイズに挑戦してメダルをゲットしよう!

答えがわかる絵本を図書館で探してね。第1弾から第4弾まで正解するたびにメダルを1つプレゼントします。

—第1弾—

- 第1問 わになるわには5ひき。かさなるかさはなんこ?
- 第2問 ちいさいしょうぼうじどうしゃ「きゅうかん」ってなに?

- ★夏休み中に第4弾まで出題。
- ★第2弾以降の問題と回答期限は各図書館でチェックしてください。
- ★全問正解すると、特別なメダルがもらえます。挑戦してね。

文化財通信

その218

変わりゆくもの・変わらないもの - 狩野川の「かわかんじょう」 -

文化財課 ☎055-948-1428



▲いかだ状の構造物の中心に立てられた松明

伊豆の国市指定文化財の中に、神島で、毎年8月1日に行われている伝統行事「かわかんじょう」があります。かわかんじょうのルーツは、狩野川の水霊を鎮め、村を護り、また水難者の霊を慰めるものという説や、盆の精霊送り、あるいは、「虫送り」「病送り」ではないかとする説があります。伊豆の奇祭とも呼ばれるこの行事では、約3m四方の竹枠に麦わらを敷き詰め、厚さ約1mに設えたいか

だ状の構造物の中心に、高さ5~6mの松明を立てたもの(かわかんじょうと呼ばれています)が用意されます。8月1日の夕刻、かわかんじょうは若者たちの手で、ゆっくり狩野川の水面を移動します。松明には炎が灯り、はやし声とも相まって、その光景は幻想的であり、奇祭の名にふさわしいものです。この神島におけるかわかんじょうは、保存会の皆様の手により続いています。かつて他の地区でも、かわ

かんじょうのような行事が行われていたそうですが、現在では見る事ができません。川には、人間にさまざまな恵みをもたらす慈悲深い一面もあれば、洪水によって一瞬のうち

に田や家屋、命までも奪い去ってしまう恐ろしい一面もあります。このような大きな自然の力の前に、私たちの先祖は、神意を感じ、魂の安らぎを求めてかわかんじょうのような行事を行ってきたのかもしれない。悠久の時を経ても、私たちの狩野川に対する畏敬の念は変わりません。これからも川の流れに思いを託す光景は続いていくことでしょう。



▲松明の炎が狩野川の中を進みます